

第1章スマート社会とくしま

第3節 オゾン層の保護

1 現状と課題

本県では、フロン等の大気中濃度を把握するため、平成4年度から調査を実施しており、平成17年度においては、県下4地点で年間にわたり調査を行っています。

平成17年度調査結果の一例は表1-3-1のとおりです。

表1-3-1 大気中フロン類調査結果(平成17年度)

区分	フロン 11	フロン 12	フロン 113	フロン 114	備考
年平均 濃度 (ppb)	0.28	0.60	0.085	0.013	4地点の 平均値

2 本県の取組み

本県のオゾン層保護対策としては、これまでこの問題に対する県民、事業者等の理解を深めるための普及・啓発を推進するとともに、オゾン層破壊物質であるフロン等について、事業者や市町村等による自主的な回収・処理の促進を中心に展開してきました。

県内における第一種フロン類の適正な回収・処理を推進するため、「フロン回収・破壊法」の周知と、第一種フロン類の回収・処理実態把握に努めるとともに、回収業者の登録等を行いました。

3 今後の取組み

県内のフロン回収・処理の一層の向上を図るため、フロン回収・破壊法のさらなる適正な運用に努めるとともに、県民に対しフロン回収の促進や費用負担に関する理解と関心を深めるための普及啓発を実施します。